

(第1面)

産業廃棄物処理計画書		年 月 日
(宛先) 高崎市長		
提出者 住 所 ○○県○○市○○町○○番○号 氏 名 ○○○○建設株式会社 代表取締役 ○○○○ (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 ○○○-○○○-○○○○		
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、 その処理に関する計画を作成したので、提出します。		
事業場の名称	○○○○建設株式会社 ○○支店	
事業場の所在地	○○県○○市○○町○○番○号	
計画期間	令和○○年○○月○○日～令和○○年○○月○○日	
当該事業場において現に行っている事業に関する事項		
①事業の種類	06 総合工事業	
②事業の規模	○○○○○万円	
③従業員数	○○○人	
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<pre>         graph LR             A[がれき類] --&gt; B[破碎]             B --&gt; C[埋立(安定型) (委託)]             D[汚泥] --&gt; E[焼却 (委託)]             E --&gt; F[埋立(管理型) (委託)]           </pre>	

代表者印、社印等の押印は不要です。

建設業等で、高崎市内における現場が複数あり、まとめて報告する場合、事業場の名称は「高崎市内現場 ○件」(○には、現場の件数を記入)、事業場の所在地は「高崎市内一円」と記入してください。

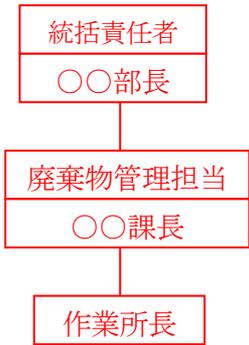
日本標準産業分類の「中分類」から選択してください。

第6面(2)参照

第6面(3)参照。処理(中間処理、最終処分)の一連の工程を明記し、委託がある場合はその旨を記載してください。書ききれない場合は、別紙を作成して添付してください。

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



- ・ 産業廃棄物の処理に関する各種事項の決定
- ・ 産業廃棄物の処理方針の策定
- ・ 廃棄物処理計画の作成
- ・ 処理業者の選定、委託契約の締結
- ・ 作業現場の廃棄物の管理

役職名と産業廃棄物処理に係る役割を記載してください（既存資料の添付可）。  
個人名は記載しないでください。  
書ききれない場合は、別紙を添付してください。

産業廃棄物の種類が3種類以上ある場合は、別紙にまとめたものを作成し、添付してください。  
以下同じ。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和〇〇年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	排出量	〇〇〇〇 t	〇〇〇〇 t
	(これまでに実施した取組) ・ 発注先との協議を実施。 ・ 汚泥は水分を含まないように管理。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	排出量	〇〇〇〇 t	〇〇〇〇 t
	(今後実施する予定の取組) ・ 上記事項の継続。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 他の廃棄物と混ざらないよう、石綿含有産業廃棄物の徹底した分別の実施。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 石膏ボード、金属くず、紙くずについても分別を実施。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和〇〇年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・ 特に実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 今後も実施の予定はない。		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和〇〇年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	〇〇〇〇 t	t
(これまでに実施した取組) ・ 特に実施していない。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	〇〇〇〇 t	t
(今後実施する予定の取組) ・ 選別施設の設置をし、再生利用を検討する。			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和〇〇年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・特に実施していない。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・実施予定なし。		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和〇〇年度）実績】 ※その他の種類については、別紙参照		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	全処理委託量	〇〇〇〇 t	〇〇〇〇 t
	優良認定処理業者への処理委託量	〇〇〇〇 t	〇〇〇〇 t
	再生利用業者への処理委託量	〇〇〇〇 t	〇〇〇〇 t
	認定熱回収業者への処理委託量	〇〇〇〇 t	〇〇〇〇 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	〇〇〇〇 t	〇〇〇〇 t
	(これまでに実施した取組) ・委託基準に従い、産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面による契約を実施している。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	汚泥
	全処理委託量	〇〇〇〇 t	〇〇〇〇 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	〇〇〇〇 t	〇〇〇〇 t
	再生利用業者への 処理委託量	〇〇〇〇 t	〇〇〇〇 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	〇〇〇〇 t	〇〇〇〇 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	〇〇〇〇 t	〇〇〇〇 t
	(今後実施する予定の取組) ・再生利用、熱回収が可能である廃棄物については、再生利用業者、 熱回収業者へ処理委託する。 ・優良認定処理業者から選定する。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。